

天理大、宿願を果す

猛反撃で関大に圧勝

大学
ラグビー
関西

よ。同志社大との試合によつては関西初優勝も実現しそうである。

天理大はことしFW四人、バックスに三人と経験豊かな四年生

が主力。残る八人も試合巧者の二、三年生でかためられ、近年にない充実ぶり。A、B、Cと三つのチーム編成のできる部員の中には、高校時代に名をはせ

た者が多く、それだけに粒もそろつて層も厚い。FWは力量もあり、バックスとのバランスもとれている。

この日のために二週間の合宿をしてチーム・ワーク作りに専念、それだけに宿敵関大を破つた喜びは大きく、グラウンドで涙を流す部員の姿もみられた。

第二戦は十月二十四日京都大と対戦する。

関西大学ラグビーAリーグ第一戦、天理大対関大の試合は九月二十六日午後一時半から大阪・花園ラグビー場で行なわれた。天理大は前半バックスの好走で先制の一トライをあげたものの、その後の関大の守りの堅さにより加点なく苦戦、一時は逆転されたが時間切れ十分前ころから猛反撃にて二ゴールを加え13-6で勝つた。

氣力が左右した試合で、後半戦終りころに追いついた天理大はFW・バックスのコンビネーションもよく、特に天理大FWは関大の重量FWを圧した格好。天理大は前半にボールが手につかず、チャンスにノック・オンが目立つた。もし後半の調子を最初から見せてくれたならば優勝できたケースであった。

シーゾンの第一戦を、過去に一回惜敗している関大戦で勝ることができて、天理大部員の喜びもひとしお。昨年つまずきに比べて、まず快調の出足といえ

天理大13 (3-1-3) 6 関大

天理大学ラグビー部メンバー

(カッコ内は学年と所属教会)

【FW】門脇(四・新潟) 金屋

(四・旭日) 笹倉(四・社) 小

森田(三・熊本) 藤井(四・大

田中(四・明和) 清水(四・京

城) 【TB】前川(四・本部)

中西(二・旭日) 熊谷(二・宇

佐(石塚(二・府内) 【FB】

中田(三・名古屋)



天理大—関西大 後半20分関大ゴール前25ヤードのルーズから天理FW門脇(左)がぬけ、笹倉フォローしてそのまま右隅にトライ、ゴールなつて逆転